

2013. 12. 24

---

プレスリリース

---

## 「内外の化繊工業の動向」

2013年 第3四半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。  
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。  
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

## 概 要 (2013年第3四半期)

2013年7-9月のわが国の景気は、個人消費や設備投資が小休止したものの、公共投資や住宅投資が堅調に推移したことを背景に景況感の回復が続いた。

化繊景況は、衣料用はユニフォームが低調であったが、アクリルスやアウトドア・スポーツ向けなどの輸出ビジネスが堅調に推移した。一方非衣料用は主力の自動車関連用途が昨年エコカー補助金終了以降低調が続いた。このような中、化繊生産は前年比3.1%増の25.1万トンであった。

### 国 内

- 1) 衣料用はアクリル衣料用の2013年秋冬向け出荷が堅調、ダウンジャケットは羽毛が高騰したため一部で中綿用に合繊での代替が見られた。婦人ブラックフォーマルは低価格品が回復、コンプレッションウェアは飽和感が強い、一方ヨガ用などのライフスタイル商品は堅調であった。非衣料用では不織布の衛材用が好調に推移、カーテン用は新規住宅着工件数が増加しているが糸の出荷増には反映せず。カーシート、シートベルト、吸音材などの自動車関連用途は低調、タイヤコード用も織物輸入の急増で国産品のシェアが更に低下した。震災復興関連では、漁網用の特需が終了し通常ペースに戻り、被災地の除染処理用の土嚢・フレコン向けは仮置場や処理場の設置が進まないため小休止となった。
- 2) 生産指数は、繊維工業全体では前年比0.4%減、前期比1.5%減、化繊1.2%増、4.3%減、紡績12.7%減、7.8%減。在庫指数(期末)は、繊維工業全体が前期比0.1%減、化繊0.8%増、紡績1.4%減となった。(生産、在庫とも指数ベースの比較、2010年=100)
- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで21.9億ドル・前年比10.6%減、円ベースでは2,166億円・12.5%増。形態別(ドルベース)では、繊維原料・前年比2.6%増、糸類・9.2%減、織物類・14.3%減、二次製品他・13.7%減。仕向地別(ドルベース)では、全体の35.0%を占める中国が13.4%減の7.7億ドル、香港(19.3%減)、韓国(8.9%減)、台湾(11.8%減)、アセアン地域は、ベトナム(6.6%減)、タイ(20.5%減)インドネシア(11.6%増)・マレーシア(8.1%減)、それ以外では、西アジア(19.9%減)、欧州(7.1%減)、米州(7.2%減)であった。
- 4) 繊維品輸入は、ドルベースで121.8億ドル、前年比0.5%、円ベースでは1兆2,050億円・25.2%増。形態別(ドルベース)では、繊維原料は1.6億ドル・0.1%減、糸類3.4億ドル・1.8%減、織物3.8億ドル・3.1%増、二次製品他113.0億ドル・0.6%減。仕出地別(ト

ルベース)では、全体の70.9%を占める中国が3.2%減の86.4億ドル、韓国(10.8%減)、台湾(8.5%減)、アセアン地域は、ベトナム(13.2%増)、インドネシア(11.6%増)、タイ(13.0%増)、マレーシア(5.7%増)、それ以外では、欧州(0.5%増)、米州(4.1%減)となった。

### 繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2012.7-9	2013.4-6	2013.7-9	前年比(%)	前期比(%)
輸出	千ドル	2,447,901	2,296,564	2,189,025	-10.6	-4.7
計	百万円	192,462	226,678	216,574	12.5	-4.5
繊維原料	千ドル	403,180	421,072	413,813	2.6	-1.7
糸類	〃	332,546	297,261	302,100	-9.2	1.6
織物類	〃	771,460	766,794	661,221	-14.3	-13.8
二次製品他	〃	940,716	811,438	811,892	-13.7	0.1
輸入	千ドル	12,242,761	9,656,322	12,183,343	-0.5	26.2
計	百万円	962,064	952,985	1,204,979	25.2	26.4
繊維原料	千ドル	160,729	187,955	160,494	-0.1	-14.6
糸類	〃	347,902	343,628	341,642	-1.8	-0.6
織物類	〃	366,859	385,170	378,113	3.1	-1.8
二次製品他	〃	11,367,269	8,739,569	11,303,095	-0.6	29.3
(うち衣類)	〃	(9,807,115)	(7,332,251)	(9,762,100)	-0.5	33.1
輸出レート	円/ドル	78.6	98.7	98.9	25.8	0.2
輸入レート	円/ドル	78.6	98.7	98.9	25.9	0.2

(出所)財務省

5) 化繊生産は25.1万トン・前年比3.1%増、前期比0.1%減、うちセルロース繊維は4.3万トン・6.5%増、12.7%増、合繊20.7万トン・2.4%増、2.4%減。期末在庫は前年比3.9%減、前期比2.7%増、うちセルロース繊維が11.8%増、8.9%増、合繊6.8%減、1.4%増であった。

化繊輸出(繊維原料～二次製品)は、15.9万トン・前年比4.7%増。うち、繊維原料は8.2万トン・7.1%増、糸類2.9万トン・3.6%増、織物類(面積ベース)1.44億㎡・2.2%減、二次製品2.5万トン・6.1%増であった。レーヨンSは17.4%増、ナイロンF19.0%増、ポリエステルF25.3%減、ポリエステルS16.2%増、アクリルS12.2%増、織物類(面積ベース)はナイロンF織物2.7%増、ポリエステルF織物0.5%減、ポリエステルS織物18.4%減。

化繊輸入(繊維原料～二次製品)は、41.2万トン・前年比5.3%増。繊維原料は1.5万トン・10.4%増、糸類5.2万トン・5.2%増、織物(面積ベース)1.39億㎡・4.7%減、二次製品31.7万トン・4.4%増、うち衣類18.2万トン・4.3%増となった。ナイロンFは5.1%減、ポリエステルF1.9%増、ポリエステルS5.7%増、ポリエステル紡績糸10.6%増、織物類(面積ベース)はポリエステルF織物0.2%増、ポリエステルS織物16.9%減。

## 化学繊維の主要指標

項 目	単 位	2012. 7-9	2013. 4-6	2013. 7-9	前年比 (%)	前期比 (%)
化繊生産	千トン	243.3	251.1	250.8	3.1	-0.1
セルロース	〃	40.7	38.5	43.4	6.5	12.7
合 織	〃	202.6	212.6	207.5	2.4	-2.4
化繊在庫	〃	95.3	89.2	91.6	-3.9	2.7
セルロース	〃	15.1	15.5	16.8	11.8	8.9
合 織	〃	80.2	73.7	74.7	-6.8	1.4
化繊輸出	千トン	152.3	162.7	159.4	4.7	-2.0
	100万ドル	1,524.5	1,455.3	1,386.0	-9.1	-4.8
	億円	1,198.6	1,436.6	1,371.3	14.4	-4.5
繊維原料	千トン	76.3	81.7	81.8	7.1	0.1
糸 類	〃	28.2	29.1	29.2	3.6	0.2
織物類	百万㎡	147.4	170.4	144.2	-2.2	-15.4
二次製品	千トン	23.7	25.2	25.1	6.1	-0.4
化繊輸入	千トン	390.6	318.2	411.5	5.3	29.3
	100万ドル	5,988.8	3,996.2	5,896.9	-1.5	47.6
	億円	4,704.7	3,943.8	5,831.6	24.0	47.9
繊維原料	千トン	13.3	13.9	14.7	10.4	5.9
糸 類	〃	48.9	48.1	51.5	5.2	7.1
織物類	百万㎡	146.3	157.0	139.4	-4.7	-11.2
二次製品他	千トン	303.3	228.3	316.8	4.4	38.8
(うち衣類)	〃	(174.1)	(110.3)	(181.6)	4.3	64.6

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

### 6) 主要合織品種の動向は次の通り。

**ポリエステルF** : 生産は 37,494 トン・前年比 8.6%減、織物生産 9,431 万㎡・2.8%増。

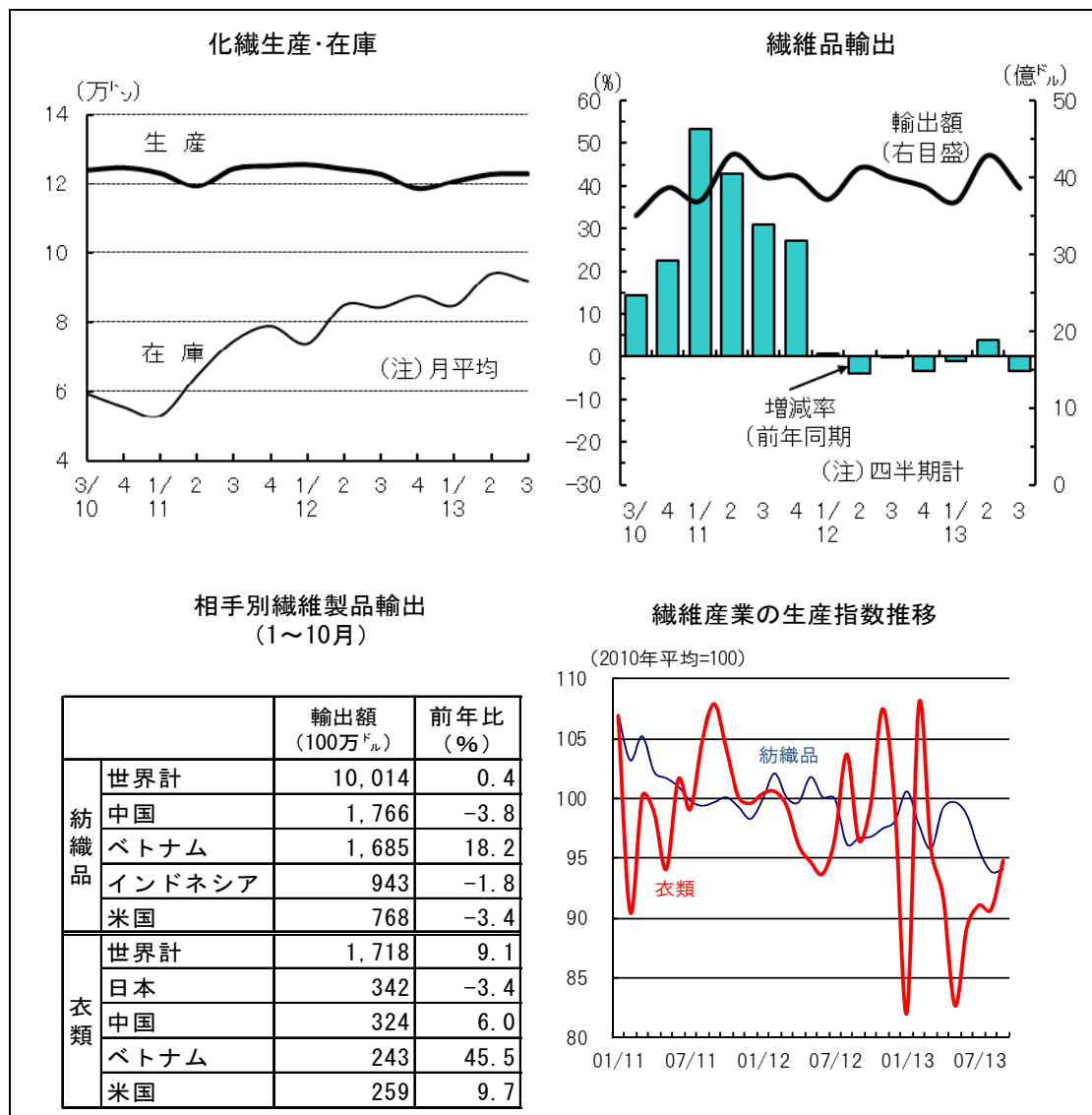
アウトドア・スポーツは、円高是正を背景に輸出ビジネスが好調、中東向け民族衣装(アバヤ)も数量増となった。ブラックフォーマルは、低価格帯品が堅調であるが、ボリュームゾーンの中級品が横這い。コンプレッションウェアは一部のブランド品を除くと飽和感が強い。ライフスタイル商品がトレンドとなり、「ヨガ」用のニットが増加。タイヤコードは、同用途向け最大手合織メーカーの撤退によりタイヤコード織物の輸入が急増した。カーシート、シートベルト、ゴム資材は昨年のエコカー補助金終了後、低調に推移した。カーテンは、住宅着工件数・マンション販売の好調が伝えられているが糸出荷増には繋がらず実感がない。漁網は復興補助金終了後、通常出荷に戻ったが昨年を下回る。除染処理用のフレコン/土嚢向けは、小休止の状況。

**ポリエステルS**：生産は 37,791 トン・前年比 2.9%減。紡績糸生産は、3,637 トン・同 16.8%減。紡績用は綿混が主力のユニフォーム分野で緩やかであるが漸く動きが出てきた、純糸は震災需要一巡後低調、更に輸入糸の増加もあり苦戦。製綿用は輸入製品がすっかり定着したため冬物寝具の生産開始に掛かれず。不織布用は、衛材の好調が続く、生活資材はフェースマスクの需要が伸びているものの、ポップ剤でニット基布使用品が主流になるなど全般的に回復が鈍い。車両資材はエコカー補助金終了後低調に推移、また軽自動車の販売比率上昇で一台あたりの繊維消費量が減少している。湿式不織布は海外素材の使用が増加している模様で、大幅な増加が見込めそうにない。

**ナイロンF**：生産は 25,223 トン・前年比 0.6%減。織物生産は 3,245 万㎡・同 8.1%増。衣料用は、プレーンパンストが堅調であったが柄物の低調が続く、カラータイツは昨 2012 年シーズンにポリエステル使いの起毛品がトレンドとなったため、ユーザーの動きが鈍く低調。円高是正を背景にアウトドア/ウインター中心に欧米向けの輸出ビジネスが好調。インナーは全般低調に推移した。タイヤコードはタイヤ生産が上向いてきたが、従来バイアスタイヤを使用していたオフロード車用がラジアル化(ポリエステル使い)した可能性があり低調、また中国からの織物輸入の増加が目立った。エアバッグは原糸輸出の好調が続く、なかでも中国向けの急増が目立つ。タイヤカーペットは大型物件が端境期に入り低調、高級車対象の自動車用マット向けは回復基調を辿った。

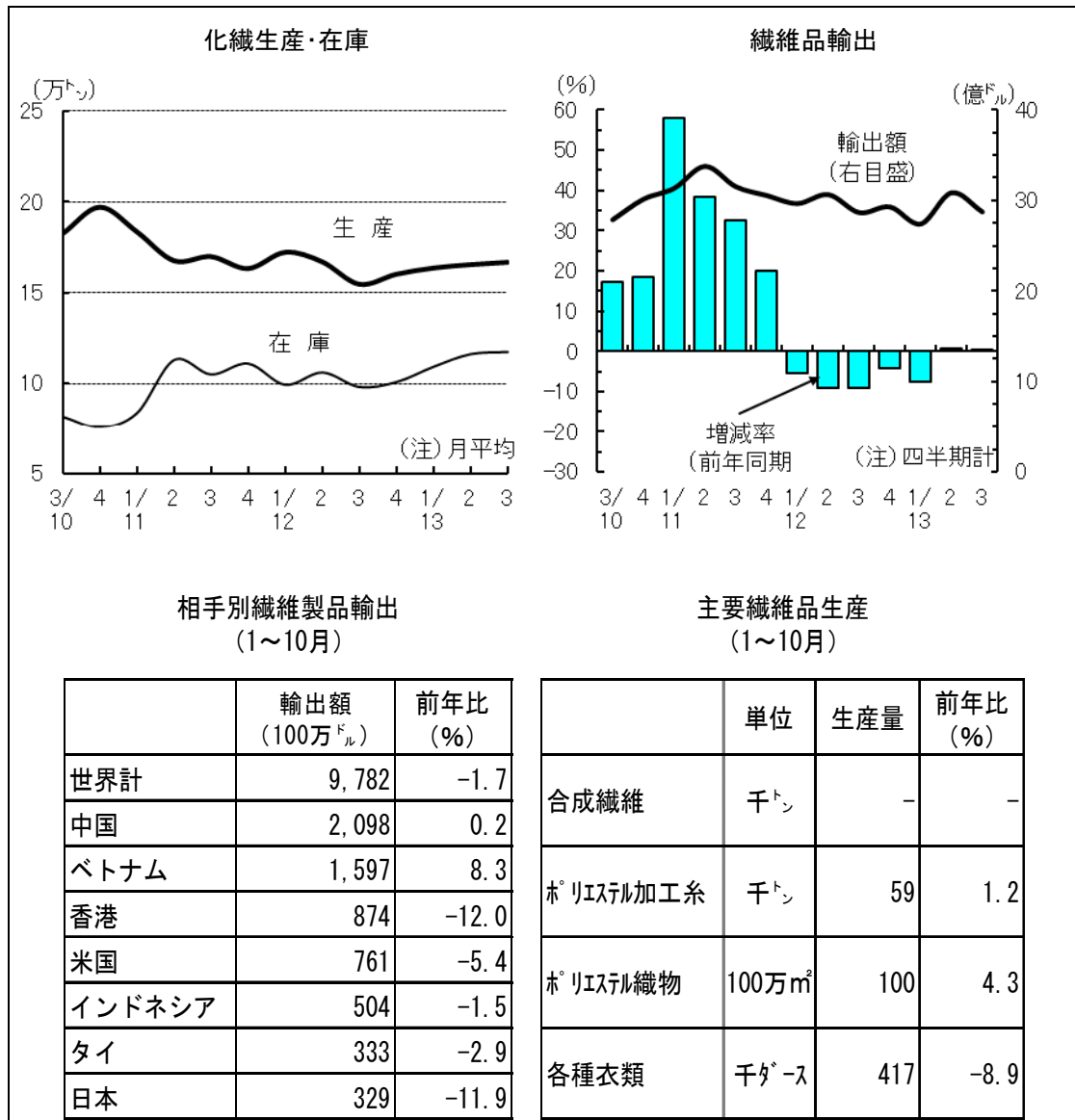
**アクリルS**：生産は 37,741 トン・前年比 13.5%増。紡績糸生産は 2,025 トン・同 16.7%減。衣料用は、セーターでスクール(ベスト)向けが動いた程度で長期低落基調が続く、一方保温肌着を中心とした「丸編」向けはアイテムの拡大もあり堅調に推移した。建寝装向けは、毛布の不振が著しく、災害備蓄用毛布を除くとアクリル使いにこだわる百貨店ビジネスなどが少々残っている程度。ステーブルの輸出は中国内需向けが好調、これは日本メーカーが得意とする「フォックス・ラクーン」などの長毛高目付品のフェイクファーがトレンドとなっていることが背景にある。インドネシアはセーター用の梳毛糸向けが低調、欧州の景気低迷や新興国の景気減速の影響を受けている。インドは手芸糸用に安定した動きが続いた。

1. 韓国



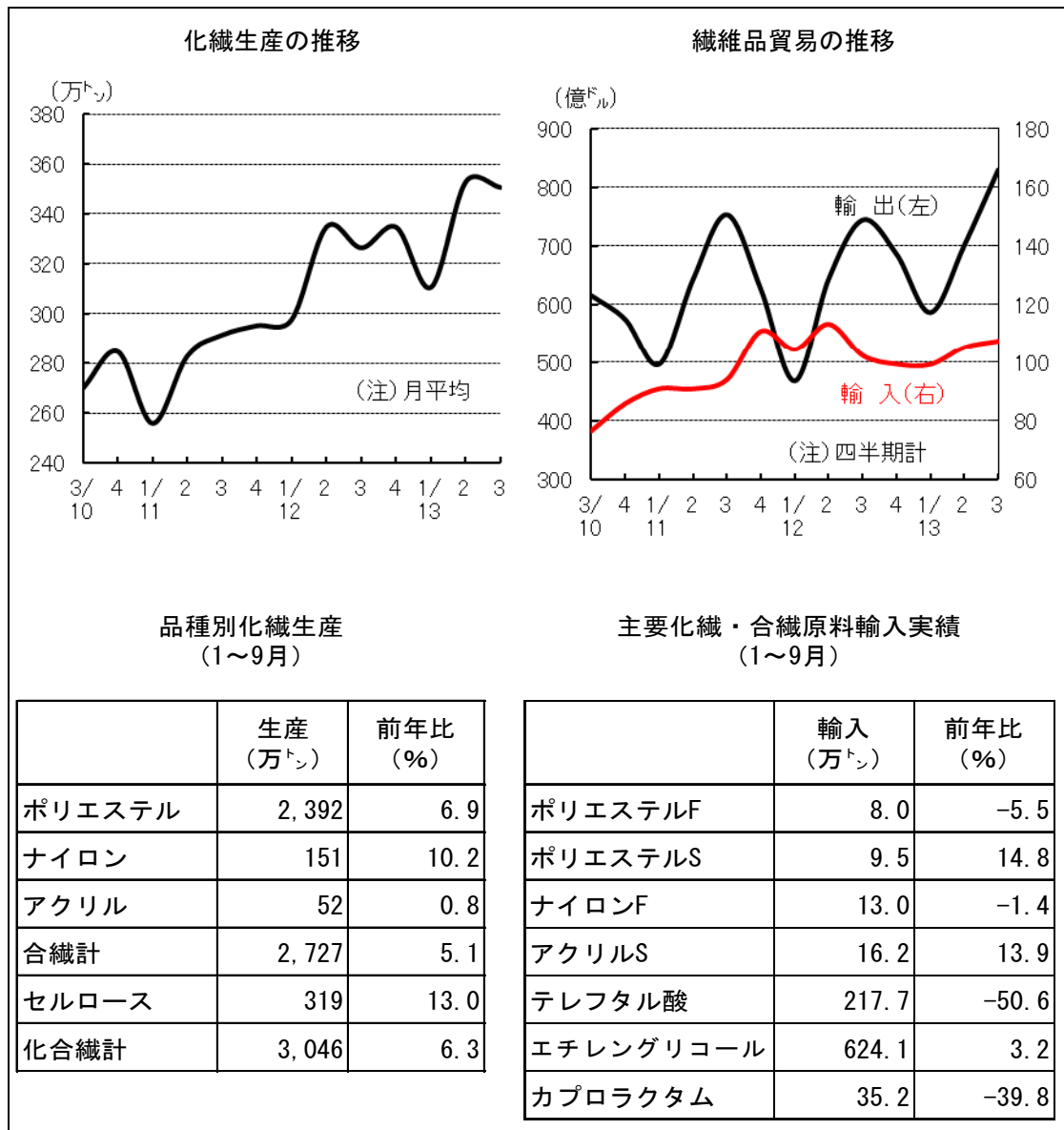
- ◆合繊生産は横ばい、繊維品輸出は2期ぶりの前年実績減と全般的に低調であった。
- ◆第3四半期の合繊生産は前年同期比0.6%増の37.1万ト。一方、期末在庫は同18.5%増の9.9万トと上昇傾向が続いている。
- ◆第3四半期の繊維品輸出は前年同期比3.4%減の38.6億ドルとなった。但し、2013年累計では増勢を維持している。1-10月の繊維品輸出を相手別にみると、紡織品は全体で0.4%増、ベトナム向けが18.2%増となったが、その他主要仕向国は減少、衣類は全体で9.1%増、日本向けは減少したが、米国、ベトナム、中国向けは増加した。
- ◆直近(2013年10月)の繊維品の生産指数をみると、紡織品は前年同月比2.7%減、衣類は1.8%減とともに減少した。

## 2. 台湾



- ◆ 化繊生産は10期ぶりの前年実績増、繊維品輸出は前期に続き前年実績を上回った。
- ◆ 第3四半期の化繊生産は前年同期比7.8%増の50.0万トンとなった。主要合繊の生産は、ポリエステルSを除き前年実績を上回った。合繊の期末在庫は前年同期比31.7%増の12.2万トンと大幅増となった。
- ◆ 第3四半期の繊維品輸出は、0.3%増の28.7億ドルとなった。1-10月の輸出を相手別にみると、主力の中国が横ばい、ベトナムが増加したが、その他の上位国は軒並み減少となった。
- ◆ 1-10月の主要繊維品の生産は、ポリエステル加工糸は1.2%増、ポリエステル織物は4.3%増と増加したが、衣類生産は8.9%減となった。

### 3. 中 国



- ◆ 繊維生産は引き続き拡大しているがその伸びは 1 桁に鈍化した。一方、繊維品輸出は堅調な動きが続いている。
- ◆ 第 3 四半期の化繊生産は前年同期比 7.4% 増の 1,052 万トと前年までの伸びからは鈍化したが続いて拡大している。1-9 月の化繊生産を品種別にみると、主力のポリエステルは 6.9% 増の 2,392 万ト、ナイロンは 10.2% 増、アクリルは 0.8% 増となった。
- ◆ 第 3 四半期の繊維品輸出は前年同期比 11.5% 増の 830 億ドル、繊維品輸入は 4.9% 増の 108 億ドルとともに増加した。
- ◆ 1-9 月の合繊原料の輸入をみると、国内生産の増加もあり、テレフタル酸は 51% 減、カプロラクタムは 40% 減とともに大幅減となった。



相手別繊維製品輸出  
(1~10月)

	輸出額 (億ドル)	前年比 (%)
世界計	2,336	11.3
アジア計	1,081	16.3
日本	227	-0.5
香港	160	21.9
韓国	55	16.1
アセアン	276	32.8
EU	426	7.5
米国	348	6.1

繊維業界の主要指標  
(1~9月)

	単位	指標	前年比 (%)
企業数	万社	3.7	-
赤字企業数	万社	0.6	-
主要業務収入	億元	45,586	11.7
うち化繊産業	億元	5,322	10.2
利潤総額	億元	2,152	17.4
うち化繊産業	億元	145	22.7
繊維産業実際投資	億元	6,604	17.7
うち化繊産業	億元	795	23.5

社会小売財消費総額  
(1~10月)

	単位	数値	前年比 (%)
商品売上総額	億元	190,308	13.0
うち繊維品等	億元	8,921	11.9

繊維関連物消費者物価指数  
(1~11月)

	前年同期比 (%)
消費者価格指数・全製品	2.6
消費者価格指数・衣類等	2.3

- ◆1-10月の相手別の繊維製品輸出をみると、EU向けは前年同期比7.5%増との426億ドル、米国向けは6.1%増の348億ドルとともに堅調に推移した。アジア地域では、日本向けは微減であったが、韓国向けは16.1%増、アセアン向けは32.8%の大幅増となった。
- ◆1-9月の繊維産業の主要指標をみると、いずれも2桁増を維持している。主要業務収入は前年同期比11.7%増、利潤は17.4%増、そのうち化繊産業の主要業務収入は10.2%増、利潤は22.7%増となった。繊維産業の実際完成投資額は17.7%増、そのうち、化繊産業は23.5%増となった。
- ◆繊維産業の衣料用内需の伸びは堅調に推移している。1-10月の繊維品商品売上は前年同期比11.9%増と輸出を上回る伸びとなった。衣類等の消費者物価指数は前年同期比2.3%上昇した。

## 合繊4品種需要実績

(2013年7～9月)

### I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2013年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	17,788	106.0	95.3
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	46,503	99.1	99.6
	計	64,291 (28,818)	100.9 (109.3)	98.4 (101.9)
輸出 (原糸、加工糸)		1,904	82.2	51.3
需要計		66,195	100.3	95.8
在庫		14,952	103.1	90.5

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### II. ポリエステルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2013年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	4,731	90.0	87.7
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	31,237	108.5	95.8
	計 (輸入)	35,968 (6,785)	110.6 (111.0)	98.7 (105.7)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		5,467	107.5	89.8
需要計		41,435	110.2	97.4
在庫		19,582	102.1	82.6

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2013年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	9,639	101.3	105.0
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	14,715	103.8	90.6
	計	24,354 (6,381)	102.8 (105.4)	95.8 (95.0)
輸出 (原糸、加工糸)		6,340	105.2	116.5
需要計		30,694	103.3	99.4
在庫		11,405	107.7	112.8

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### IV. アクリルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2013年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	5,218	63.2	107.3
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	1,676	80.0	76.4
	計	6,894 (302)	66.6 (113.5)	97.7 (122.8)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		32,225	111.6	115.4
需要計		39,119	99.7	111.8
在庫		9,189	91.4	87.2

(注)国内需要の( )内数値は輸入量